



コアの印象に対する石膏注入の留意点

メタルコアはワックスを用いて原型(以下、ワックスパターン)を製作し、その後模型から外してメタルに置き換えていきます。

ワックスパターンの製作をすることをワックスアップと言いますが、そのワックスアップしたものを模型から外す際に、ポストが中々抜けない、もしくはポストが湾曲した状態で抜けること(写真1)があります。抜けない理由は様々ですが、湾曲している状態のものは、ポストが変形している可能性があります。

変形は石膏の注入時、または注入後の硬化までの間に起こります。

「野うさぎ」3月号の掲載記事の補足となりますが、石膏注入時の留意点としてこちらをご覧ください。



(写真1) ポストが曲がったワックスパターン

まず、目視で印象を確認してください。

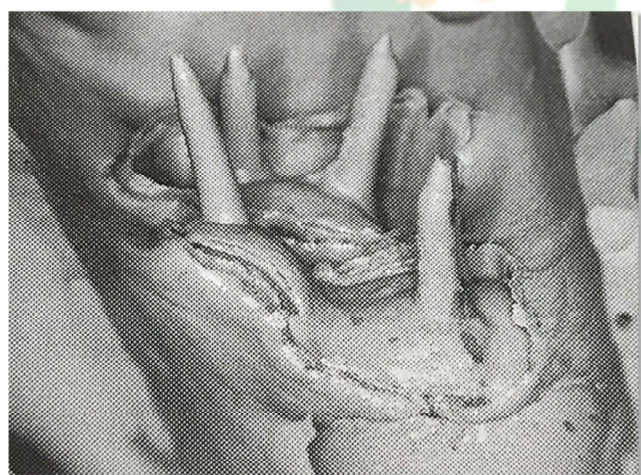
① ポストが細くて長い

② ポストが複数あり、互いに平行ではない

(歯根の向きによって、ポストの形成もその方向に合わせ写真2のような状態になったケース)

上記の2点が確認できる印象は特に要注意です。

石膏の流し方の基本は「野うさぎ」3月号でも記載しましたが、特にコアの印象には、ポストの先端に少しおおう程度とし、石膏泥の流れがよいうちにすべての作業を終えることが肝心です。



(写真2) 複数ポストあり、並行性なし

流動性の悪くなった石膏泥をバイブレーターの振動を強くしてから無理に注入しようとすると、石膏泥の流れにポストが負けてしまい、変形したままで硬化してしまいます。必要以上に石膏を盛り上げる(重くなる)、また、スパチュラでなでつけたりすることは、ポストに力を加えることになり、これらの動作もポストの変形につながってしまいます。(写真2のような場合、ポストに対して斜めに力が加わりますので、特に変形の原因となりやすいです。)

作業後は、硬化するまでは振動のない場所に印象を水平に保ったまましばらく放置しておいてください。

●「野うさぎ」3月号のワンポイントアドバイスの補足●

前回のワンポイントアドバイスで、硬化後の印象からの模型の外し方としては、「硬化時間を守る」、「印象の乾燥で硬くならないうちに外す」とお伝えいたしました。印象の乾燥を防ぐ方法は、家庭用の食器を保管する入れ物(写真3)や、タッパー等を用いて印象の保湿状態を長く保たせることで解決します。



(写真3) 家庭用食器ケースを利用した保湿箱

何よりも乾燥前と後では外す手間が軽減します。また、スタッフさんの役割として、石膏の注入をする方とは別の方が石膏を外す場合があるかと思います。特に、石膏注入の際に「歯牙(支台歯含む)が細い」、「歯牙が傾いている」、「根が露出している」など、外す際の破折に注意しなければならない場合には、その旨の伝言やメモを印象につけて、スタッフさんの間で情報が正しく確実に伝わる、共有できる方法を取られることをお奨めします。